

第3期美濃加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略

(事業編)



令和7年4月策定

岐阜県美濃加茂市

目標「住みたい、住んでみたいと思える魅力あふれるまちをつくる」

目次

「人の未来をつくる」

①地域教育推進事業	1
②若者と未来をつなぐ事業	2
③学習活用事業	3
④科学の心しぎ解決学習推進事業	4
⑤豊かな体験推進事業	5
⑥生物多様性地域連携促進事業	6
⑦「みる」スポーツ推進事業	7
⑧教育相談・適応指導教室推進事業	8
⑨参加支援事業	9
⑩プレスクール事業	10
⑪のぞみ教室推進事業	11
⑫子育て支援事業	12
⑬幼児療育支援事業	13
⑭保育園ICT活用事業	14
⑮里山保育事業	15

「人の流れをつくる」

①里山活用事業	16
②里山まちづくり事業	17
③古民家等による地域資源活用事業	18
④Kisoジオパークにぎわい創出事業	19
⑤中山道観光推進事業	20
⑥国際交流事業	21
⑦移住して暮らし始めるための支援事業	22
⑧女性活躍推進事業	23
⑨姫Biz戦略事業	24
⑩あい愛バス運行事業	25
⑪スマホ市役所事業	26
⑫シティプロモーション事業	27

人の未来をつくる① 地域教育推進事業

目的	学習に関する支援や居場所づくりに加え、同学年の他校の児童と交流する機会を創出することにより社交性や行動力を養うこと。						
対象	市内小学校低学年(1年生～3年生)の児童	主管	市民協働部ひとづくり課				
概要	<p>○楽習ひろば</p> <p>生涯学習センター教室、加茂野教室、牧野教室の3か所において、地域教育コーディネーターを配置して学校と地域との連携を図り、地域資源を生かした教育を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習支援活動(漢字検定、英語活動、科学実験など) ・施設体験活動(アクアトト、サイエンスワールド、化石学習、名古屋市科学館) ・地域体験活動(昔あそび、栗きんとんづくり、堂上蜂屋柿づくりなど) 					 <p>The image shows a woman in a black shirt pointing at a whiteboard. The whiteboard has a question in Japanese: '【問題1】ドライアイスをお湯に入れたら?' (Question 1: What happens if you put dry ice in hot water?). Below the question are two diagrams of glasses. The first diagram shows a glass with a question mark and the text '予想' (Prediction) and 'ア' (A). The second diagram shows a glass with a question mark and the text 'イ' (I) and 'ウ' (U). The text 'お湯' (hot water) is written next to a drawing of a steaming cup.</p>	
KPI	地域教育推進事業「楽習ひろば」参加者数(年間延べ人数)	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
目標値		4,200	4,200	4,400	4,400	4,500	
現状値:4,166							

※現状値＝令和5年度

人の未来をつくる② 若者と未来をつなぐ事業

目的	地域と関わりながらさまざまな活動に取り組み、社会課題を解決することができる人材を育成すること。						
対象	市内の小学生から高校生、20代を中心とした青年層	主管	市民協働部ひとづくり課				
概要	<p>○地域活性化スクール 高校生の活動支援フィールドワークやワークショップをとおして、若者に新たな気づきや学びのフィールドを提供するプログラムを実施します。</p> <p>○STEAM 教育 地域と関わりをもちながら STEAM 教育(「科学:Science」、「技術:Technology」、「工学:Engineering」、「芸術・リベラルアーツ:Art」、「数学:Mathematics」の5つの分野を統合的に学ぶ教育)を展開します。</p> <p>○若者活動支援事業 居場所づくりを中心に、地域と関わりながら成長しようとする若者の活動を支えます。</p>						
KPI	市が開催する若者に向けた取組に関わった若者の人数(人)	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
目標値		100					
現状値:57		100					



※現状値＝令和5年度

人の未来をつくる③ 学習活用事業

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・学校での教育に加え、博学連携機関としての文化の森の活用をとおして学習に対する関心意欲を一層高め、知識理解をより確実にすること。 ・博物館を身近に感じることで、この地に根付く民俗的な暮らしへの理解を深め、地域をよく知り、愛着と文化的な資質を持つ市民を育むこと。 						
対象	幼児・児童・生徒	主管	市民協働部文化振興課				
概要	<p>○学校活用 各学校の年間指導計画に位置付けられ、各学校と連携しながら、文化の森の「人・もの・こと・場」を活用し、ここでしかできない活動をとおして得られる気づきや感動を大切に、深い学びを提供します。</p> <p>○文化の森わくわくプログラム 博物館としての専門性を生かした講座やイベントを休日に開催し、生涯をとおして博物館に関わるきっかけづくりを実施します。</p> <p>○中学生のスタッフ体験 ボランティアや職業体験の受け入れにより、博物館の運営に触れる機会を創出します。</p>						
KPI	文化の森の学習をきっかけに、他の博物館や美術館に出掛けたことがある人の割合(%)	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
目標値		11	12	12	13	13	13
現状値:10.8							

※現状値＝令和5年度

人の未来をつくる④ 科学のふしぎ解決学習推進事業

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・第3次教育振興基本計画に基づき、自然・科学分野での体験学習等の機会を充実させ、児童生徒が一層自然・科学技術に対する興味関心をもち、視野を広げ、生きる力の素地をつくること。 ・普段の授業では体験できない活動をとおして、児童生徒の科学への興味関心を高めること。 ・自ら解決しようとする探究心を高め、解決方法を学び、より発展的な学習や他領域への学習へと学びの意欲をつなぐこと。 						
対象	市内各小中学校児童生徒、保護者	主管	教育委員会事務局学校教育課				
概要	<p>○自然・科学分野の体験活動 自然・科学技術のふしぎや面白さを肌で感じることができるよう な体験活動を意図的に取り入れ、児童生徒の興味関心を高めること に重きを置いた取組を実施します。</p> <p>○専門家による講演会や実験活動 さまざまな分野の専門家から話を聞く機会や授業では取り扱うこと のない高度な実験に触れる機会を創出し、児童生徒の自然・科学 技術に対する興味関心を高めます。</p>						
KPI	生活習慣アンケート「学校の授業は、楽しいですか」に当てはまる、どちらかと言えば当てはまると答えた児童生徒の割合(%)	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
目標値		100	100	100	100	100	100
現状値:92							

※現状値＝令和5年度

人の未来をつくる⑤ 豊かな体験推進事業

目的	<p>・第3次教育振興基本計画に基づき、美濃加茂の自然・文化資源等に触れて学ぶ体験活動を充実させ、児童生徒の主体的に取り組む姿勢やコミュニケーション能力、自己解決能力の向上を図るとともに故郷への誇りや愛着を培うこと。</p> <p>・学校の授業では体験できない自然・科学技術のふしぎに触れて学ぶ体験活動を充実させ、児童生徒の豊かな人間性や、物事に主体的・対話的に取り組む意欲を育てること。</p>						
対象	市内各小中学校児童生徒	主管	教育委員会事務局学校教育課				
概要	<p>○ふるさとの自然に触れる体験研修 ふるさとの自然を肌で感じる活動をとおして、児童生徒が仲間と協働し、主体的に取り組む姿勢やコミュニケーション能力、自己解決能力の向上を図り、自然への畏敬の念や、故郷への誇りや愛着を培います。</p> <p>○専門家を活用した講座や体験活動 ・普段の授業や教科書では学ぶことのできない、自然科学のふしぎや面白さを体感できる活動を企画し、より多くの児童生徒の自然科学技術に対する興味関心を高めます。 ・ヤギさんとのふれあい授業によって、命の尊さを肌で感じ、豊かな心を育成します。 ※美濃加茂市では、平成23年から山羊(ヤギ)による緑地斜面除草に取り組んでいます。</p>						
KPI	興味関心が高まり、参加してよかったと回答した参加者の割合(%)	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
目標値		98		98		99	
現状値:86		98		98		99	

※現状値＝令和5年度

人の未来をつくる⑥ 生物多様性地域連携促進事業(みのかも定住自立圏事業)

目的	みのかも定住自立圏域の人々が自然環境に関する意識を高め、生物多様性の保全に積極的に取り組むこと。						
対象	定住自立圏の住民	主管	産業振興部環境課				
概要	<p>○環境フェアの開催 8市町村合同により、加茂地域の自然環境をテーマとしたイベントを開催し、地域の生物や食材に触れる取組や環境に関する意識を高める取組を実施します。</p> <p>○学習会等の開催 河川の汚染程度や水質改善の必要性を判断できる観察対象であるカワゲラに関するものをはじめとして、「森とシカと人の関係」や「川の魚とオオサンショウウオ」などの生態系の豊かさやバランスに関する学びを実施します。</p> <p>○圏域の自然環境調査による基礎データの更新 美濃加茂自然史研究会による自然環境基礎調査を継続し、環境政策に関する基礎的な情報の更新を継続します。</p>						
KPI	環境フェアや生物多様性学習会等への参加者数(人) ※圏域住民の関心度	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
目標値		4,000					
現状値:2,483		4,000					

※現状値＝令和5年度

人の未来をつくる⑦「みる」スポーツ推進事業

目的	・ハイレベルなスポーツを「みる」ことで、地域活性化につながるスポーツへの関心を向上させ、スポーツを多様に楽しむことのできる地域社会を実現すること。 ・スポーツの楽しさや夢に向かって努力することの大切さを知り、こどもたちが豊かな人生を送るための気づきを得ること。						
対象	市民全般、市内在住の小学5年生および中学2年生(双葉中生徒含む)	主管	市民協働部スポーツ振興課				
概要	○トップレベルのスポーツ観戦 国内最高峰の競技スポーツを観戦する機会を創出し、スポーツを身近に感じられる機会を増やします。 ○夢の教室 トップアスリートを「夢先生」として小中学校に派遣してスポーツの楽しさや夢に向かって努力することの大切さを伝え、目標意識や健全な生活習慣の獲得、団結力やコミュニケーション能力の向上を図ります。						
KPI	全国規模のスポーツ大会 観戦者数【市民】(人)	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
目標値		290					
現状値:235		290					

※現状値＝令和5年度

人の未来をつくる⑧ 教育相談・適応指導教室推進事業

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・第3次教育振興基本計画に基づき、すべてのこどもたちが学びにアクセスできる環境整備、教育相談体制の充実を図ること。 ・社会適応能力の育成および自己肯定感の向上を図ること。 						
対象	学校生活や集団生活に対し不適応状況にある児童生徒、保護者および学校職員	主管	教育委員会事務局学校教育課				
概要	<p>○教育相談活動 児童生徒本人および保護者との個別面談やカウンセリングを通じて、不適応な状態にある原因や背景を理解し、適切な対応策を探るとともに、保護者が一人で悩みを抱えこまないようなサポート方法や環境改善策を提案します。</p> <p>○教育支援センター 個の実態、状況に応じ、自主性、社会性を育む体験活動を軸にしたさまざまな学習支援活動を推進します。</p> <p>※令和7年度に生涯学習センター施設維持管理事業と連携</p>						
KPI	学校内外の機関等で相談・指導等を受けていない不登校児童生徒の割合(%)	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
目標値		0					
現状値:20		0					

※現状値＝令和5年度

人の未来をつくる⑨ 参加支援事業

目的	<p>・人と人との関わりにおける「支える側」と「支えられる側」という関係性を越えて、誰もが役割と出番を実感するために、多様な状況や立場の人が集える機会を創出すること。</p> <p>・市民や支援関係機関が顔なじみの関係となり、お互いに地域課題を共有し、ともに暮らしやすい地域について考えることができる学びの場を通じて、主体的に地域と関わろうという気持ちを育み、住民自治への再価値づけや自律的な地域づくりを可能とするひとりぼっちを創らない地域共生社会を実現すること。</p>						
対象	市民、市内の支援関係機関および庁内の関係課	主管	市民福祉部福祉課				
概要	<p>○地域共生社会の実現に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「安心感」と「他者から必要とされている感覚」を育むため、どのような状況、立場の人でも気軽に集うことができる居場所づくりを実施します。 ・誰にも「役割」があることを実感できる機会を通じて、「支え支えられ」という互惠感情が育まれる体験を提供します。 ・市民と支援関係機関がともに地域課題を認識し共有する機会を通じて、お互いに地域課題の解消に向けた協力関係や協働活動を創出します。 ・事業への参加者が地域に出かけながら地域住民と対話し、新たに社会とつながる機会や場を創出します。 						
KPI	事業による「居場所」や「学びの場」の開催回数(回)	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
目標値		42	47	52	57	62	
現状値:38							

※令和6年度開始事業のため、現状値は当該年度のものです。

人の未来をつくる⑩ プレスクール事業

目的	日本語の読み書き、日本の学校生活のルール、集団生活などの生活習慣、コミュニケーションの取り方などを就学前に理解し、スムーズな就学へとつなげること。						
対象	公立・私立・認可外保育施設に通う外国籍児童および外国にルーツを持つ児童	主管	健康こども部こども未来課				
概要	○対象児童が多い園、認可外保育施設での実施(年長・年中) ・日本語の理解の度合を考慮してクラス分けをして日本語教師により実施するプログラムで、年間カリキュラムを作成し、ひらがなを主体とする日本語や自分の名前の読み書き、日本で生活していく上での基本的な生活習慣等の指導を実施します。						
KPI	外国人児童のプレスクール事業参加率(%)	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
目標値		45	50	55	60	65	
現状値:44							

※現状値＝令和5年度

人の未来をつくる⑪ のぞみ教室推進事業(みのかも定住自立圏事業)

目的	第3次教育振興基本計画に基づく学習保証として、日本語の読み書き、日本の学校生活のルール、集団生活などの生活習慣、コミュニケーションの取り方などを就学前に理解し、スムーズな就学へとつなげること。						
対象	みのかも定住自立圏内に居住する日本語理解が難しい学齢期の外国人児童生徒	主管	教育委員会事務局学校教育課				
概要	<p>○初期適応指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車両での送迎による遠隔地からの参加を可能にしつつ、在籍する学校での生活が支障なく送れるように、必要な日本語、日本の文化、学校生活の基礎に関する生活指導を行います。 ・基礎的、基本的な学力を身に付けるために、ICT を活用して個別最適な学びを充実したり、多言語化している児童生徒の母語に対応したりするなど、日本語理解レベルや学習習熟度に応じて、多様な方法で個に応じた学習指導を実施します。 						
KPI	のぞみ教室に在籍した児童生徒が小学校・中学校に就学後、年度末まで在籍した割合【帰国・転校を除く】(%)	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
目標値		100	100	100	100	100	
現状値:100		100	100	100	100	100	

※現状値＝令和5年度

人の未来をつくる⑫ 子育て支援事業

目的	子育て不安を軽減し、子育ての楽しさを感じ、安心して子どもを生き育てることができる環境を整備すること。						
対象	子育て中の保護者、子育て支援に興味関心がある市民、市内中学生	主管	健康こども部子育て支援課				
概要	<p>○交流や学ぶ場の創出 親子で参加できるイベント型のプログラムや子育てサロンの開設、子育て講座の開催など、保護者の子育ての悩みや孤独感を軽減し、自分なりに楽しく子育てができる方法を見つける手助けをします。</p> <p>○命のバトンふれあい教室(中学3年生を対象) 地域の方々の協力を得ながら、中学生が赤ちゃんやその保護者と交流し、命の大切さや子育てのリアルを感じられる機会を創出します。</p>						
KPI	子育て関係事業の参加者数(人)	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
目標値		17,200					
現状値:17,045		17,200					

※現状値＝令和5年度

人の未来をつくる⑬ 幼児療育支援事業(みのかも定住自立圏事業)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・多種多様な障がいの早期発見と早期支援の充実による一貫した支援体制を構築すること。 ・早期発見に関わる療育施設の役割強化と地域連携を充実させること。 						
対象	定住自立圏域の幼児療育に関わる関係職員	主管	健康こども部子育て支援課				
概要	<p>○人材育成研修 各市町村の持つ資源やネットワークを生かし、基礎知識と専門的技術の習得を図るための人材育成や圏域の共通課題について学び合うための研修を開催します。</p> <p>○専門職等の派遣支援 オプトメトリスト(視力検査や視覚に関する健康問題の診断・治療を行う)、心理士(臨床心理学にもとづく知識や技術を用いてメンタルヘルス問題を解決に導く)、作業療法士(応用的動作能力や社会的適応能力を維持・改善するリハビリテーションを行う)などの専門職を現場に派遣し、療育を実施しながらの実践的な学びの機会を創出します。</p>						
KPI	受講内容が療育に生かした職員の割合(%) ※アンケート結果より	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
目標値		100	100	100	100	100	
現状値:100							



※現状値＝令和5年度

人の未来をつくる⑭ 保育園ICT活用事業

目的	ICTの活用により個々のこどもの状態を把握し、こどもの理解を深めることで保育士間のコミュニケーションを充実させ、保育士の質の向上を図るとともに保護者が安心して預けられる保育環境を構築すること。						
対象	保育を必要とする児童、保育士	主管	健康こども部こども未来課				
概要	<p>○状態把握・共有プログラムの活用 保育中における園児の状態や保育士の気づきなどを入力するアプリケーションを用いて各園でデータを活用したフィードバック会議を行い、それぞれの保育を振り返り、保育の質を向上させることに取り組みます。また、月に1回程度、全園長が集まり、ICT全体会議を開催し、アプリケーションの活用方法やデータの分析等について情報共有しながらより良い保育の実施につなげます。</p>						
KPI	本事業がスキルアップに有効と感じる保育士の割合(%)	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
目標値		90	92	92	92	92	
現状値:90							

※現状値＝令和5年度

人の未来をつくる⑮ 里山保育事業

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の豊かな自然環境や地域コミュニティとの関わりを通じて、こどもたちの非認知能力(社会性、自己制御、感情の理解など)を高めること。 ・自分自身だけでなく他者を尊重し、大切に思う心を養うことなど、こどもたちの情操や共感を育て、豊かな人格形成を促進すること。 						
対象	公立保育園、こども園の利用児童	主管	健康こども部こども未来課				
概要	<p>○市内全域をフィールドにした保育 豊かな自然(水、土、風、動植物など)との関わりで園児の五感に働きかける活動を展開し、遊びを通じた自由な発想や非認知能力を育みます。</p> <p>○地域との連携 地域の方々との連携協力体制の構築に取り組み、保育士のスキルアップや小学校へつながる仕組みづくりを実施します。</p>						
KPI	里山保育(保育内容)の満足度(%) ※保護者アンケート	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
目標値		80	80	83	83	85	
現状値:78							

※現状値＝令和5年度

人の流れをつくる① 里山活用事業

目的	地域産業活性のモデル地区として本来の里山を取り戻し、里山にある資源や空間を有効活用して地域の持続可能な発展につなげること。						
対象	市内の里山	主管	産業振興部農林課				
概要	<p>○里山の整備 森林経営計画等に基づき、地域連携や地域住民による維持管理を進めます。</p> <p>○里山の資源活用 里山から産出された木材を使用して、学校机の天板やふるさと納税の返礼品など、市特有の産品を生産します。</p> <p>○整備後の里山利活用 ・森林空間活用や地域連携のモデル地区として発信します。 ・里山をフィールドとして企業との連携を通じた里山整備を推進するため「地域貢献の整備」と「社員の健康」を合わせた事業計画を策定し企業への働きかけを図ります。</p>						
KPI	里山整備ボランティア活動のべ整備面積(ha)	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
目標値		1.8	1.9	2.0	2.1	2.2	
現状値:1.6							

※現状値＝令和5年度

人の流れをつくる② 里山まちづくり事業(みのかも定住自立圏事業)

目的	里山や地域の伝統、文化などを深く理解し、将来この圏域で活躍する人材や圏域の魅力を生かした地域活性化を支える人材を育成すること。						
対象	定住自立圏域の里山地域の住民、定住自立圏域内外の住民および民間事業者	主管	市民協働部まちづくり課				
概要	<p>○聞き書きの実施 地域資源の掘起しにつながる「聞き書き」によって、地域に伝わる知恵や文化を継承します。</p> <p>○圏域内外への情報発信 ホームページ、SNSにて里山の暮らしや文化などの情報、講座など情報発信をします。</p> <p>○里山体験事業 継続的に関わりをもち、里山での暮らしについての学びや担い手となる人材育成につながる講座を実施します。 地域資源を活用した事業(ソーシャルビジネス)を体験する講座を実施します。</p>						
KPI	地域と関わりをもち続けたいと感じる人の割合(%)	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
目標値		95	95	95	95	95	
現状値:94							

※現状値＝令和5年度

人の流れをつくる③ 古民家等による地域資源活用事業

目的	里山地域の価値や魅力を理解し、地域の暮らしや文化を尊重する人材を育成することに加え、地域資源の活用や利用を広める取組を促進し、地域経済の好循環を市の発展につなげること。						
対象	地域内外の住民、民間事業者	主管	市民協働部まちづくり課				
概要	<p>○里山の担い手育成 古民家再生施設での里山資源を活用した事業化に関する講座を継続的に実施し、里山地域に関心を持ち、活動をする担い手を育成します。また、初級や中級などの選択ができるよう事業のバリエーションを増やすことで、参加者の増加を図ります。</p> <p>○里山資源の活用 地域材の確保と他の事業者等へも地域材を活用してもらうことを狙い、施設を拠点とした地域経済循環の仕組みを構築します。また、里山資源を活用していくためのコンソーシアムを設立運営していく素地をつくります。</p>						
KPI	交流人口および関係人口の数(人)	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
目標値		80					
現状値: 61		80					

※現状値 = 令和5年度

人の流れをつくる④ Kisoジオパークにぎわい創出事業(みのかも定住自立圏事業)

<p>目的</p>	<p>木曽川周辺の自然や現代アートに触れながら、豊かな人間性、自ら学び自ら考える力や新たな感性を育み、生きる力の基盤を育てると共に地域愛を醸成し、定住促進に寄与すること。</p>						
<p>対象</p>	<p>市内外からの木曽川河畔空間利用者</p>	<p>主管</p>	<p>建設水道部土木課</p>				
<p>概要</p>	<p>○イベント等の開催 畔空間を生かした自然体験講座や地域資源を生かした現代アートワークショップ、マルシェ等の各種イベントを開催し、新たな価値観の創出と地域の賑わいを促進します。</p> <p>○歩行空間の整備 照明や遊歩道の改修を進め、質の高い固有の河畔空間をつくるための整備を実施します。</p>						
<p>KPI</p>	<p>堤防道路の利用人数(人)</p>	<p>年度(令和)</p>	<p>2025(7)</p>	<p>2026(8)</p>	<p>2027(9)</p>	<p>2028(10)</p>	<p>2029(11)</p>
<p>目標値</p>		<p>268,500</p>	<p>273,800</p>	<p>278,300</p>	<p>282,200</p>	<p>285,600</p>	
<p>現状値:268,300</p>							

※現状値＝令和5年度

人の流れをつくる⑤ 中山道観光推進事業

目的	伝統的な景観を守り、古くから残る町並みや文化を生かした宿場観光や地域交流によるにぎわいを創出するとともに、観光満足度を向上させること。						
対象	中山道太田宿を訪れる観光客、地域住民	主管	産業振興部商工観光課				
概要	<p>○太田宿中山道会館の運営 指定管理制度を活用し、民間の活力や発想を生かしながら太田宿中山道会館を管理、運営します。</p> <p>○観光関連施設の維持管理 防犯カメラの設置等、中山道太田宿区域内における観光関連施設に必要な維持管理を実施します。</p> <p>○街並み保存による景観形成 中山道太田宿区域内における景観条例に即した建造物の修景を支援し、町並みを維持します。</p>						
KPI	中山道会館来館者数(人)	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
目標値		90,000	100,000	100,000	100,000	100,000	
現状値:85,293							

※現状値＝令和5年度

人の流れをつくる⑥ 国際交流事業

目的	海外と自国の違いを知り、多様な視点をもった市民によるまちづくりにつなげること。						
対象	市民(在学、在勤を含む。)	主管	市民協働部まちづくり課				
概要	<p>○姉妹都市提携 オーストラリア国ダボ・リージョンとの姉妹都市提携に基づく健康、観光、教育・若者に関連する連携に係る調整・国際交流の促進に向けた関係機関との協議やPRのほか、青少年の海外への派遣および海外からの受入等を通じた交流事業を実施します。</p>						
KPI	青少年派遣・受入報告会 参加者数(人)	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
目標値		250					
現状値:180		250					

※現状値＝令和5年度

人の流れをつくる⑦ 移住して暮らし始めるための支援事業

目的	未来に向けた自然と共生できるまちづくりにおいて、地域の担い手となり得る人材を確保すること。						
対象	市外からの移住定住希望者	主管	市民協働部まちづくり課				
概要	<p>○美濃加茂市への移住定住に関する情報発信 ホームページ「みのかも時間」やSNSを活用し、交流および関係人口へ移住定住の情報を発信します。</p> <p>○空き家バンク制度の運営 移住希望者の住居として市内の空き家物件を利用していただけるよう、まちづくり協議会をはじめとする地域住民とも連携し空き家情報の収集・発信、物件見学会を実施します。</p> <p>○移住支援 東京圏から移住し、就業または起業した方に対し、国、県との連携による支援金を交付します。</p>						
KPI	まちづくり課が窓口になって移住した件数【空き家バンク成約件数】(件)	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
目標値		6		6		6	
現状値:3		6		6		6	

※現状値＝令和5年度

人の流れをつくる⑧ 女性活躍推進事業

目的	自分らしくいきいきとした人生を歩もうとする人を応援し、笑顔で、輝いて、夢を叶えられるよう一歩踏み出す人の増加を図ること。						
対象	市民	主管	市民協働部ひとづくり課				
概要	<p>○「Re:Ola[リオラ]」の運営 「ふらっと立ち寄り」、「ちょっと相談」、「そっと寄り添う」をコンセプトとした「みんなのプラットフォーム」として、相談支援を主目的とした「みのかも女性活躍支援センター Re:Ola[リオラ]」を運営します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアデザインやキャリアアップ等のセミナー実施 ・コミュニケーションやライフデザインをテーマ目的とした座談会による利用者同士のつながり拡大 ・活躍機会創出のためのイベント開催 						
KPI	女性活躍支援センター利用者および講座受講者等の事業への満足度(%)	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
目標値		99	99	99	100	100	
現状値:98							

※現状値 = 令和5年度

人の流れをつくる⑨ 姫Biz戦略事業

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・女性、若年層、シニアなど、多様な起業ニーズがある幅広い年代の起業者を増加させるとともに、起業後の事業の円滑化を促進させること。 ・中山道にエリアの空き家解消による既存ストックの有効活用 						
対象	市民、起業希望者、事業者、中山道における起業希望者および空き家所有者	主管	産業振興部商工観光課				
概要	<p>○起業等相談窓口運営 女性、若年層、シニアなど幅広い年代からの多様な起業ニーズに対応する相談支援、起業や経営支援に関するセミナー等を開催します。</p> <p>○起業支援補助金 中山道にエリアを限定した集中的な補助金交付により、起業促進を実施するとともに空き家の解消を図ります。</p>						
KPI	起業件数(累計) ※姫 Biz 事業によるもの	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
目標値		140	155	170	185	200	
現状値:134							

※現状値 = 令和5年度

人の流れをつくる⑩ あい愛バス運行事業

目的	移動の利便性を向上させ、地域のコミュニティづくりや安心安全、健康増進、まちなかのにぎわい創出、環境負荷の低減等を推進すること。						
対象	市民、美濃加茂市を訪れる人	主管	市民協働部まちづくり課				
概要	<p>○美濃加茂市コミュニティバス「あい愛バス」の運行 9路線、1日8便を毎日運行しながら、時刻表の継続的な見直しやホームページによる広報を実施します。</p> <p>○AI デマンド交通システム運行にむけた実証実験 AI デマンド交通システムを取り入れ、利用者のニーズに応じたルートやダイヤによる運行を実現し、利便性向上を図るため実証実験を行います。</p>						
KPI	バス利用者数(人)	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
目標値			154,000	158,000	162,000	166,000	170,000
現状値:141,411							

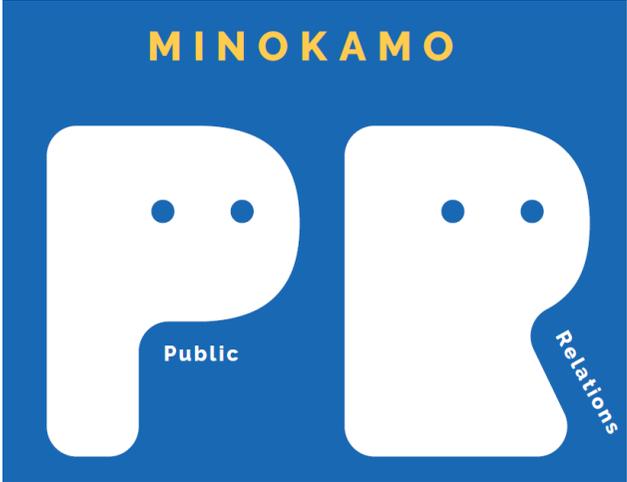
※現状値＝令和5年度

人の流れをつくる⑪ スマホ市役所事業

目的	デジタルを活用して、待たない・書かない・行かない市役所を実現し、これまで市役所利用に要していた「時間」をお返すこと。						
対象	市民、通勤・通学者	主管	経営企画部企画課				
概要	○市 LINE 公式アカウントを活用した各種行政サービスの提供 オンラインによる行政手続の申請、各種イベント予約、キャッシュレス決済、行政サービスの情報提供など、市に関する手続き等の利便性を向上させる環境を整備します。			 <p>スマホ市役所で みんなの暮らしを もっと便利に</p> <p>美濃加茂市公式LINEアカウントをまだお友達してない、 防災・防災の準備、イベントの申し込みなどを手軽に発信でき ます。多岐にわたるお問い合わせや予約も、各種手続き もスマホで完結、お役も簡単にお返すことができます。ぜひ ご登録ください。</p> <p>美濃加茂市 Mino-Kamo City</p> <p>美濃加茂市 公式LINEアカウント QRコード</p>			
KPI	市 LINE 公式アカウント の累計登録者数(人)	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
目標値		19,200		20,400		21,600	
現状値:10,267		22,800		24,000			

※現状値＝令和5年度

人の流れをつくる⑫ シティプロモーション事業

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・市内外の住民や関係者における市政等への関心を高めるとこと。 ・シビックプライドの醸成による定住促進と関係人口・交流人口等の増加を通じた地域の活性化を図ること。 						
対象	市民および市外の住民・関係者、市職員	主管	経営企画部秘書広報課				
概要	<p>○戦略的プロモーションの実施 AI を活用した市内のイベント情報集約サイトの運営をはじめとして、市の行政分野の方針や施策について市民が関心を高め、より深い理解が進められるよう、専門家等の知見を活用したプロモーションを実施します。</p> <p>○広報業務についての職員の資質向上 広報マインドを醸成するための職員研修や緊急事案発生時の危機管理サポートを実施します。</p>						
KPI	美濃加茂市に誇りや愛着を感じている人の割合(%) ※「とても感じている」「どちらかといえば感じている」の合計	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
目標値		65		66		68	
現状値:63		67		69		69	

※現状値＝令和5年度